

2024年3月19日
日本郵便株式会社地域のカーボンニュートラル化を推進する「+エコ郵便局」
～2023年度 6局を開局～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也／以下「日本郵便」）は、『JP ビジョン 2025』のもと、郵便局ネットワークを活用し、電力会社などと協力して実施している充電設備や太陽光発電設備の設置、再生可能エネルギーへの切り替え、より環境に配慮した「+エコ郵便局（環境配慮型郵便局）」の開局など、地域のカーボンニュートラル化推進に取り組んでおり、2023年度は新たに6局の「+エコ郵便局」を開局しましたのでお知らせいたします。

1 「+エコ郵便局」の取り組み

「+エコ郵便局」は、郵便局の建物にCLT^(注)を活用することで建設時のCO2発生を抑制し、木材利用により炭素を貯蔵するとともに、使用するエネルギーの一部に再生可能エネルギーを用いることにより、カーボンニュートラルの実現に貢献する郵便局です。

2023年度に開局した、イオンタウン鷹巣郵便局（秋田県）では、「+エコ郵便局」における再生可能エネルギー利用の新たな試みとして、地中熱を活用した空調を導入しました。

また、2022年度に「+エコ郵便局」として開局した伊予郵便局（愛媛県）においては、太陽光発電設備を設置し、この3月より発電を開始しました。あわせて、蓄電池を設置することで、日中に発電した電力を夜間・雨天時などにも利用でき、より無駄のない運用が可能となっています。

日本郵便は、こうした取り組みを今後も推進し、郵便局ネットワークを活用して、2030年度までに温室効果ガス排出量の2019年度比46%削減を目指すとともに、更なる地域のカーボンニュートラル化の推進に貢献してまいります。

(注) CLT：クロス・ラミネイティッド・ティンバー

長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルで、強度や断熱性に優れており、コンクリートや鉄に比べてCO2の発生を抑制するもの。

2 2023年度に開局した「+エコ郵便局」（開局日順）

郵便局名	所在地	開局日	再生可能エネルギー利用の内容
あいら池島	鹿児島県始良市	2023年10月2日（月）	太陽光
名古屋桜	愛知県名古屋市	2023年12月11日（月）	
勝北	岡山県津山市	2024年1月9日（火）	
越後宮内	新潟県長岡市	2024年1月15日（月）	
イオンタウン鷹巣	秋田県北秋田市	2024年1月22日（月）	地中熱を活用した空調
グリーンファーム館山内	千葉県館山市	2024年1月29日（月）	太陽光

【あいら池島局】



【名古屋桜局】



【勝北局】



【越後宮内局】



【イオンタウン鷹巣局】



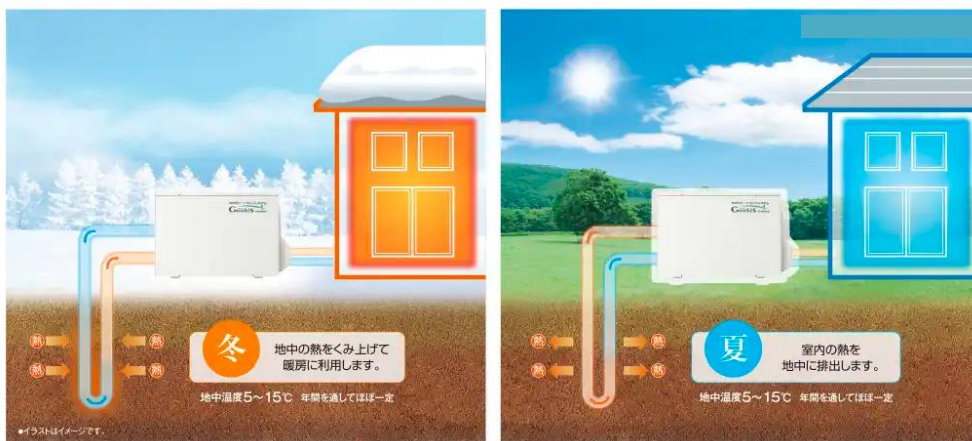
【グリーンファーム館山内局】



3 2023年度の新たな取り組み：地中熱ヒートポンプを活用した空調

イオンタウン鷹巣郵便局では、冷暖房システムの熱源の一部に地中熱を活用するシステムを導入しています。

地中の温度が一年中安定(5℃~15℃)していることを利用し、冬は地中熱を汲み上げて暖房に利用するとともに、夏は室内の熱を地中に放出することにより、通常のエアコンに比べ高効率な運転ができるシステムです。



以上